

平成13年9月中間期 決算説明会

平成13年11月8日・9日
日本証券金融株式会社



今中間期 (単独) の特徴

1. 営業収益の増加
2. 経常利益・中間純利益の減少
3. 株価下落と金利低下の影響



1. 営業収益の増加

(単独) **12,587百万円**
(前年同期比 24.8%増)

- ・要因...有価証券貸付料の増加



2.利益の減少

- ・経常利益 (単独) **908百万円**
(前年同期比 54.8%減)
- ・中間純利益 (単独) **876百万円**
(前年同期比 52.8%減)



3. 株価下落と金利低下の影響

日経平均株価 **1万円割れ**

貸借取引融資金利 **0.6%**

(5月1日 0.15%引下げ)

制度信用買い残 **1兆円台維持**



連結決算の特徴

■ 子会社決算の概況

日証金信託銀行 好調（前期比増）

日本ビルディング 堅調

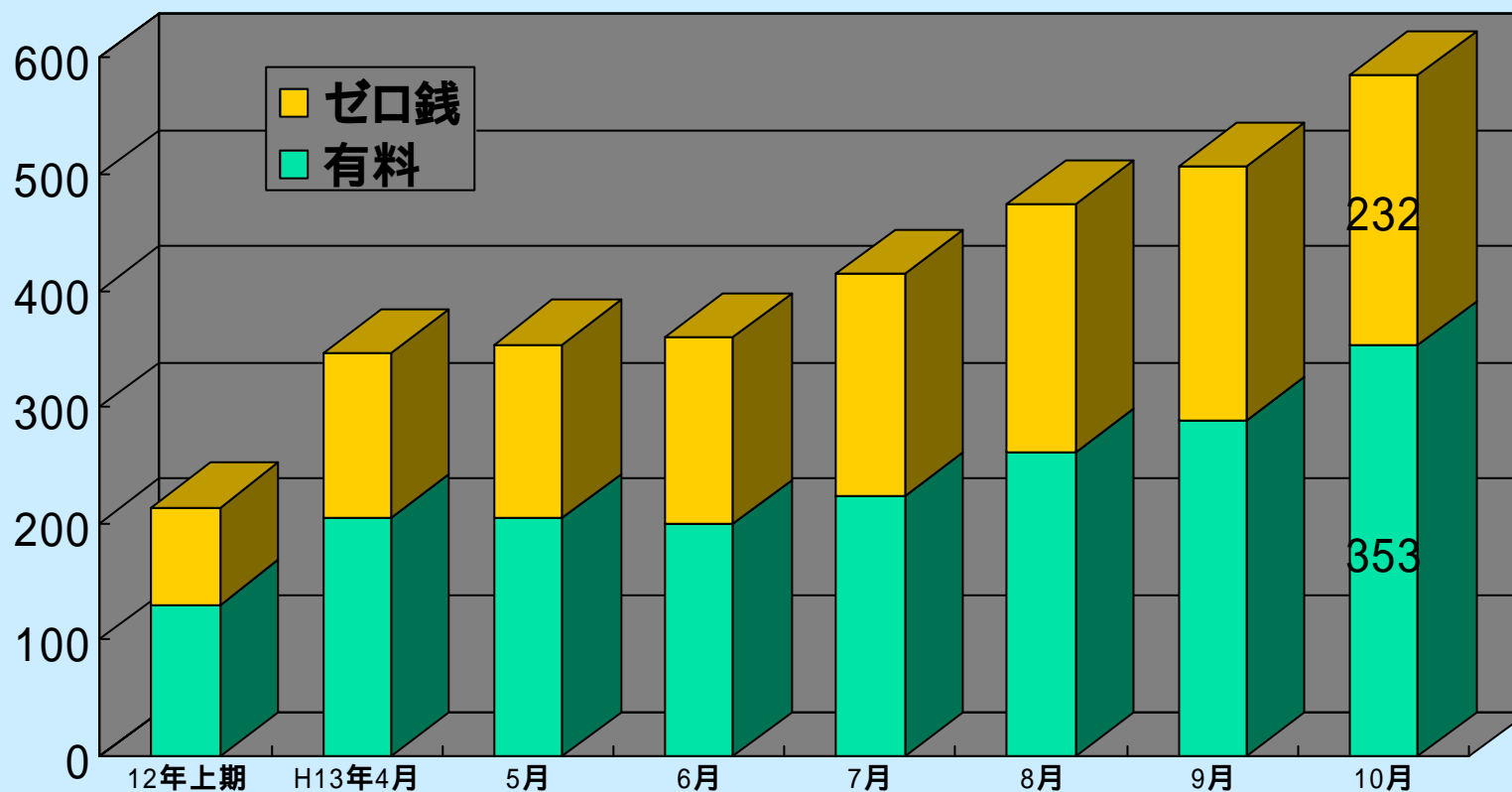
日本事務サービス 回復基調

■ 持分法による投資収益の影響

日本証券代行 36.6%

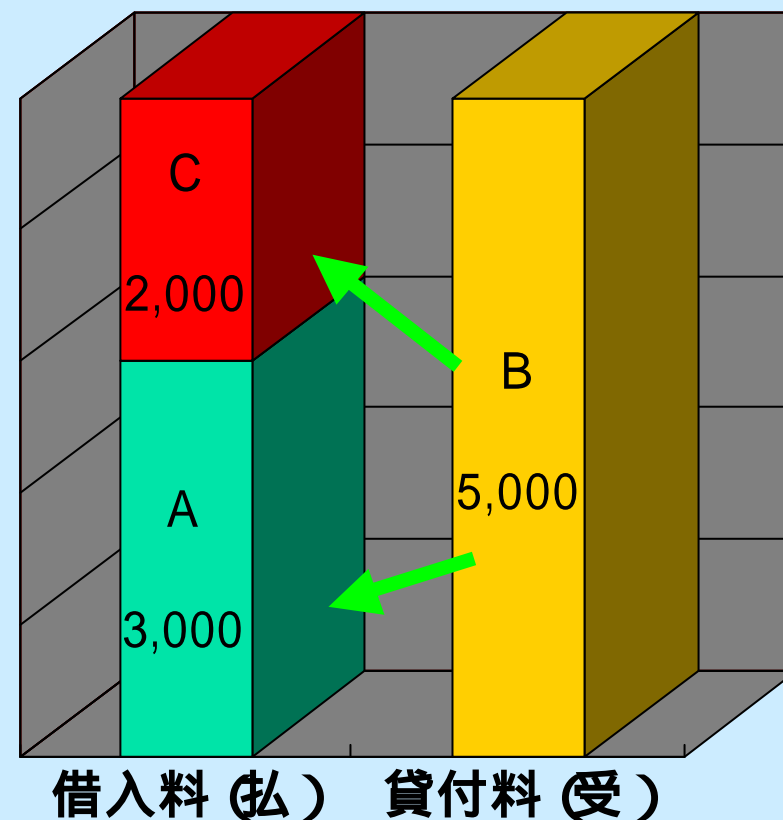
日本電子計算 29.1%

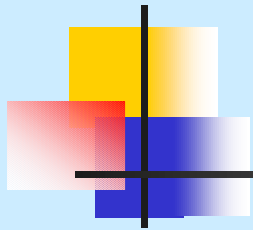
品貸料銘柄数の推移 (一日平均)



品貸料の受払い

- 融資の証券会社... A
3,000株
(当社の 3,000円支払)
- 貸株の証券会社... B
5,000株
(当社の 5,000円受入)
- 借株先の生損保... C
2,000株
(当社の 2,000円支払)





有価証券貸付料・同借入料

有価証券貸付料	7,654百万円
<u>うち貸借取引</u>	<u>7,106百万円</u>

有価証券借入料	7,535百万円
<u>うち貸借取引</u>	<u>7,106百万円</u>



自社株買いの状況

- 旧消却特例法に基づき買付けを継続
 - 期間 6月27日から10月26日まで
 - 株数 1,758千株
 - 取得価額 796百万円
- 昨年からの買付額合計
 - 株数 6,558千株
 - 取得価額 2,741百万円



システム開発の進捗状況

- *e Stock Lending*

(株券貸借ネットワークシステム)

- ・ DVP対応即時貸株取引 (5月スタート)
- ・ オファー・ビット株券貸借仲介取引
今秋を若干延期 今年度中の稼働



通期の見通し(単独)

単位 :百万円

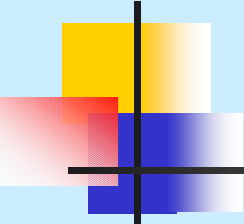
	予想数値	当初予想比	前期比
営業収益	24,000	+ 2,000	520
経常利益	1,100	1,200	1,370
当期利益	1,100	650	665



通期の見通し(連結)

単位 :百万円

	予想数値	当初予想比	前期比
営業収益	30,000	+ 1,500	1,568
経常利益	3,400	500	698
当期利益	2,800	-	37



注意事項

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより変動する可能性があることにご留意ください。